

四 条 中 学 校 ブ ロ ッ ク の 小 中 一 貫 教 育

小中一貫教育構想図

四条中学校ブロック小中一貫教育目標

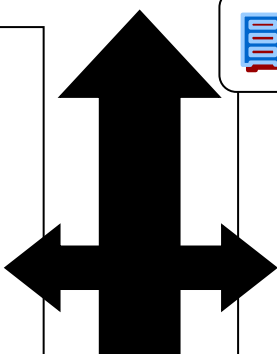
夢を持ち，共に学び，たくましく社会を生き抜く子の育成
～聴く力をつけ，互いに認め合い，自分で考え，本当の力をつける～

目指す子ども像

- ・人とともに社会を生きる力をもつ子
- ・自分を知り，律する力をもつ子
- ・課題を見つけ，解決する力をもつ子
- ・夢や希望をつくりあげる力をもつ子

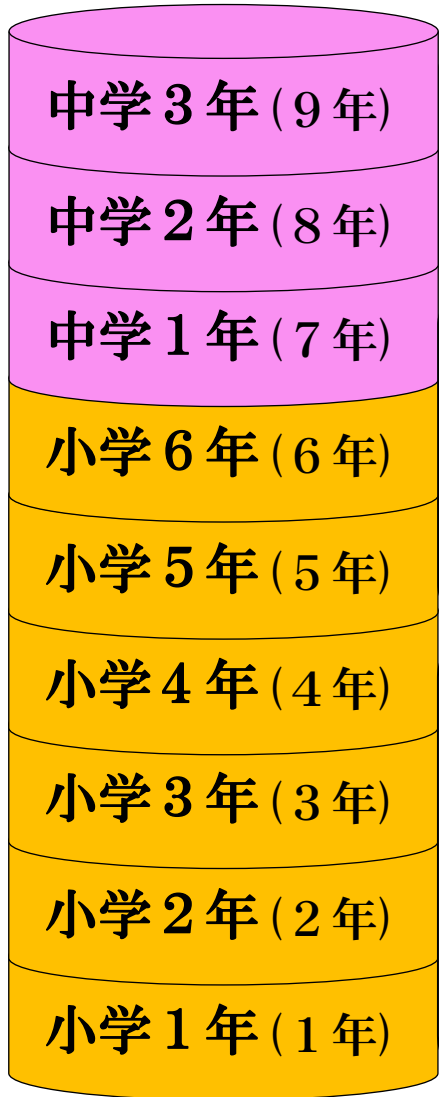
目指す教職員像

- ・優しさと厳しさを兼ね備え互いに向上できる教職員
- ・子どもに対する愛情や思いやりをもった教職員
- ・教育の専門家としての実践的指導力を身に付けた教職員



9年間の学びと育ちの構想

進路指導＝生き方指導と捉え，総合的な学習の時間・道徳・特別活動での指導を系統的に関連させ，社会性を身に付け，自己の進路を切り拓くことを考えさせる。



主な取り組み

- ・ようこそ先輩事業（9年）
- ・修学旅行（9年）
- ・高校訪問事業（8年）
- ・チャレンジ体験事業（8年）
- ・ファイナンスパーク学習（7年）
- ・修学旅行（6年）
- ・学童音楽会（山ノ内6年）
- ・ものづくり工房学習（安井6年）
- ・長期宿泊（5年）
- ・スチューデントシティ（5年）
- ・地域への職業体験（安井5年）
- ・野外学習（4年）
- ・ものづくり工房学習（山ノ内4年）
- ・ユニバーサルデザイン（山ノ内4年）
- ・カイクを通して命の学習（安井3年）
- ・伝統文化体験学習
友禅染め（山ノ内 3・4年）
生け花体験（安井 4年）
- ・地域学習（3年）
- ・大すきいっぱいわたしのまち（2年）
- ・みんなであそぼうはるなつあきふゆ（1年）

子どもにつけたい力

- ・社会の仕組みを知るとともに，働く意義を理解し，自己の進路を考える態度や能力
- ・体験を通して自己の役割を理解し，自ら進んで考え学ぼうとする態度や能力
- ・社会生活に関わる様々なルールについて，理解し行動できる態度や能力
- ・調査や体験を通して課題を発見・分析して，処理・解決する能力
- ・自ら課題を設定し，見通しをもって学習する力
- ・自分は多くの人とのかかわりの中で生活していることに気づき，互いを認め合い，支え合おうとする力
- ・自ら課題を見つけ，解決しようとする態度
- ・自分なりの方法で表現したり伝達したりする力
- ・学んだことをふり返り，自分の生活に生かそうとする態度
- ・誰に対しても，思いやりの心もち，相手の立場に立ってあたたく親切にする態度
- ・自分の思いや考えを相手に伝えようとする態度
- ・自分を大切にし，周りの人も大切にしようとし，自ら関わろうとする態度

子どもの実態

- ・素直で協調性があり，学校生活の中でルールやマナーを守ろうとする子が多い。地域や公共の場での行事にも進んで参加する傾向もある。
- ・一方で，積極性が欠けていたり，主体的に取り組もうとする姿が乏しく，自分の思いや考えを表現することが苦手な子が多い。
- ・家庭学習の習慣，基礎的・基本的な学力はある程度定着しているが，さらなる向上の余地は十分にあると考えられる。
- ・スマートフォンやケータイの所持率が高く，SNSに関するトラブルも少なくない。
- ・生活体験や学習経験が，その場限りとなりやすく応用的な場面での活用に活かせない子が多い。
- ・各小学校区に母子生活支援施設が存在し，そこに入所している母子のほとんどが虐待から避難してきている。また施設を退所後校区内に居住している家庭の子どもも相当数在籍している。これらの子どもは自己肯定感が極めて低く，精神的にも情緒不安定である。